

# 平成28年度事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人放課後遊ぼう会

## 1 事業の成果

宝塚市内の8小学校において遊び場を定期的に668回開催し、延べ4万5千人の子どもたちが参加した。多くの保護者や地域住民が子どもの遊び場づくりにかわり、地域の中で力を発揮するとともに、世代を超えた交流の輪が広がった。

宝塚市より、市内全体の放課後子ども教室をさまざまな形で支援する「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」を受託した。その一環として、子どもの遊びの重要性や遊び場づくりの意義を啓発するセミナーと、応急手当も含めた安全管理についての講習会を開催した。また、依頼のあった放課後子ども教室にプレイリーダーを派遣するなど、地域の遊び場の質向上に貢献した。

## 2 事業の実施に関する事項 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所・回数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	支出額小計(千円)	収入源※			
							A	B	C	D
遊び場づくり事業	子どもの遊び場開催 (広報紙発行・危険箇所報告書作成を含む)	通期	宝塚市の8小学校にて合計639回開催	主に宝塚市内の子どもたちと保護者、44,307人	7,157	放課後遊ぼう会冒険ひろばプロジェクトから支出	○		○	○
		毎月第4土曜日他	宝塚市立仁川小学校にて冒険ひろばを14回開催(単独開催は2回)	主に宝塚市内の子どもたちと保護者、385人	406			○	○	○
		月1~数回	宝塚市立末成小学校・光明小学校・逆瀬台小学校にて冒険ひろばを15回開催	3校区の子どもたちと保護者、591人						
		2月17日	宝塚市立長尾小学校にて放課後子ども教室を1回開催	宝塚市立長尾小学校の子どもたち、106人(スタッフは5人)	20		○			○
	子どもの遊び場支援	通期	宝塚市の小学校で開催される遊び場、放課後子ども教室を27回支援	主に宝塚市内の子どもたちと保護者、1848人、及びスタッフ、301人	415		○		○	
					7,998					
居り場事業づくり	宝塚市立山手台小学校夏季休業中の学童保育待機児童対策事業(中止のため準備のみ)	—	—	—	18				○	
					18					
材成子育にど成係も事るの業人育	ボランティア養成講座開催	6月6日 6月10日	宝塚市立西公民館 宝塚市立東公民館	地域住民、延べ33人	164		○		○	
					164					
子どもの育成に係る啓発事業	広報紙発行(子どもの遊び場開催を含む)	通期	法人事務所	保護者と地域住民、延べ約6万人	0					
	インターネットでの情報発信による啓発	通期	法人事務所	地域住民	18				○	
	遊びや遊び場づくりの重要性を広く啓発するための啓発セミナー開催	10月27日	宝塚市立西公民館	地域住民、24人	124		○		○	
					142					
子どもの育成に係る調査事業	宝塚小保護者アンケート	1月	法人事務所	宝塚市立宝塚小学校の保護者、約900人	7				○	
	放課後遊ぼう会型放課後子ども教室開催校危険箇所の継続調査(子どもの遊び場開催を含む)	通期	宝塚市の8小学校 法人事務所	放課後遊ぼう会開催校の全児童3,738人、及び全遊び場参加者	0					
					7					
					8,330					

※ A: 宝塚市「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」(受託事業)  
 B: 兵庫県「子どもの冒険ひろば開設費等補助事業」(補助事業)  
 C: 宝塚市立仁川小学校PTAからの助成金(平成28年3月受領)と宝塚市立末成小学校PTAからの助成金  
 D: 寄付金他

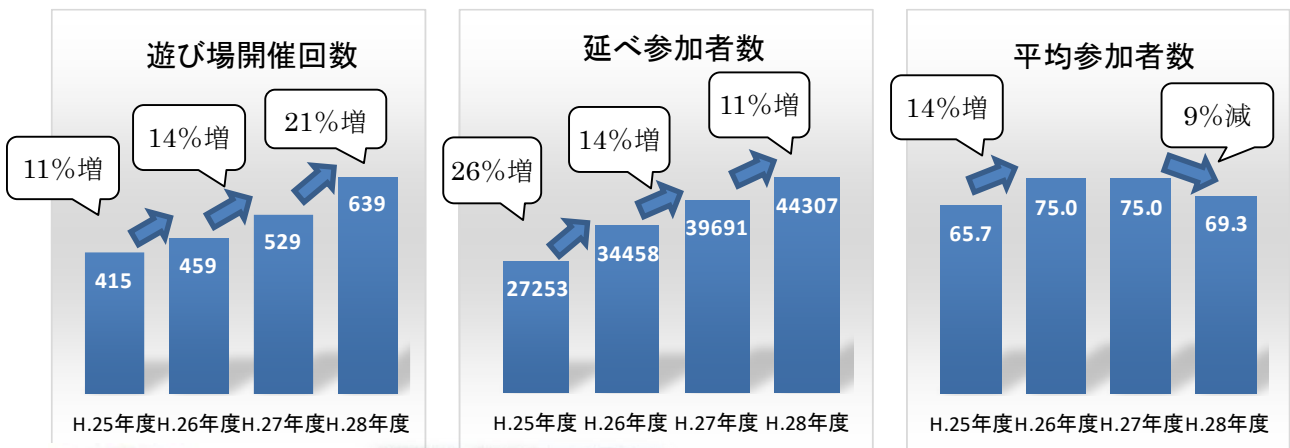
# 事業詳細

## 1 遊び場づくり事業

(1) 宝塚市内の8市立小学校において、放課後の遊び場を次のとおり開催しました。

※( )内は平成27年度の数値

事業名	開催小学校名	開催回数	参加者数(人)					平均参加者数(人)	児童数(人)	児童数当たりの参加者の割合(%)
			幼児	小学生	中高生	その他	合計			
宝塚市放課後子ども教室	仁川	240 (240)	106 (158)	19,466 (20,908)	40 (6)	92 (137)	19,704 (21,209)	82.1 (88.4)	730 (775)	11 (11)
	末成	156 (120)	618 (425)	4,964 (5,813)	51 (2)	475 (291)	6,108 (6,531)	39.2 (54.4)	321 (340)	12 (16)
	光明	60 (41)	58 (33)	3,380 (3,144)	3 (1)	25 (21)	3,466 (3,199)	58 (78)	204 (220)	28 (35)
	良元	60 (55)	177 (144)	4,597 (4,297)	62 (12)	85 (168)	4,921 (4,621)	82 (84)	344 (353)	24 (24)
	逆瀬台	60 (54)	67 (72)	2,992 (2,518)	2 (0)	39 (33)	3,100 (2,623)	52 (49)	261 (276)	20 (20)
	安倉	15 (15)	14 (13)	1,260 (1,182)	0 (0)	12 (1)	1,286 (1,196)	86 (80)	542 (505)	16 (16)
	安倉北	16 (4)	7 (4)	1,460 (308)	0 (0)	0 (0)	1,467 (312)	92 (78)	417 (523)	22 (15)
	宝塚	32	23	4,220	2	10	4,255	133	919	14
	合計	639 (529)	1,070 (849)	42,339 (38,170)	160 (21)	738 (651)	44,307 (39,691)	69.3 (75.0)	3,738 (2,992)	
兵庫県子ども冒険ひろば	仁川	14 (10)	18 (33)	328 (197)	6 (1)	33 (44)	385 (275)	27 (27)	730 (775)	3.7 (3.5)
	末成	11	56	285	-	46	387	35	321	11
	光明	3	3	154	-	4	161	53	204	26
	逆瀬台	1	2	39	-	2	43	43	261	16
	合計	29 (10)	79 (33)	806 (197)	6 (1)	85 (44)	976 (275)	34 (27)	1,516 (775)	



- ・毎回、放課後遊ぼう会所属のプレイリーダーを2、3名ずつ配置し、安全管理等を担当しました。
- ・登録ボランティアは全校区で203人、ボランティアの延べ参加者数は2,200人でした。

(2) 市内の12小学校区の放課後子ども教室からの依頼に応じてプレイリーダーを2名ずつ派遣し、下記のとおり支援しました。また、放課後子ども教室未開設校において、カプラ大会を開催しました。(宝塚市「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」)

支援内容	支援校数	延べ支援回数	支援したスタッフの延べ人数	参加児童数
カプラ大会実施	10	14	171	913
通常開催支援	6	13	130	935
未開設校でのプレ開催	1	1	5	106
合計	13	28	306	1954

カプラ大会の様子



通常開催支援の様子




## 2 子どもの育成に係る人材育成事業

宝塚市「放課後子ども教室」にかかわるボランティアを養成するための講座を開催しました。

「安全管理・応急手当について」		
日時	場所	参加者数
6月6日(月)10時~12時	宝塚市立西公民館 セミナー室	26名
6月10日(金)10時~12時	宝塚市立東公民館 303号室	7名

講座内容

1. 安全管理の必要性と方針
2. ハザードについて(物的ハザード・人的ハザード)
3. その他の危険要因(気象・害虫・病原微生物等、アレルギー、不審者対応、火事・地震対応)
4. 開催前の準備(当日の点検、救急箱の準備等について)
5. ケガ・事故・トラブル時の対応(保護者への連絡、医療機関への搬送、二次災害防止、保険申請について)
6. 応急手当について(擦傷・切傷・刺傷・出血・鼻血・歯折・指切断・突指・捻挫・眼のケガ・骨折等)
7. 頭部のケガについて
8. 心肺蘇生法について



## 3 子どもの育成に係る啓発事業

(1) 8小学校において、毎月、小学校と幼稚園の保護者向けのお便りを発行しました。

お便りにその月の開催予定とともに、遊びの重要性を伝えるための啓発文を載せました。

お便り発行月	啓発文タイトル	お便り発行月	啓発文タイトル
9月	お子さん、外で遊んでいますか？	12月	遊びの中で育つ力
10月	自由遊びの価値	2月	集団遊びのここがすごい！その1「ストレスで成長」
11月	遊びで体験UP	3月	集団遊びのここがすごい！その2「まねっこで成長」

### 子どもはどうして遊ぶの？

「やってみなければ」「ワクワクするから」「楽しいから」。遊びは本能的、自発的なもので、それ自身が目的です。遊びは『脳の機能を高める重要な体験学習』であり、五感を働かせて体験する機会を重ねる中で、『やばい！』『ラインがわかるようになり、人間関係の距離感も学べます。子どもが夢中で遊ぶとき、眼差しは真剣そのもの！子どもにとって遊びは『生きること』そのものです。』

国連子どもの権利条約で、子どもの『遊ぶ権利』が認められており、子どもが思い切り自由に遊ぶ権利を保障することが求められています。忘れられた条文と言われている。整いやろい事が、増え、学習指導要領が変わり放課後の時間が減ったため、**すきまの時間しかない**子が増えています。遊ぶ場所や仲間も限られ、**外で遊びたくても遊べない**子が多くなっています。

### 遊びの中で育つ力

10月27日に開催した啓発セミナーの内容をご紹介します。講師は榎木美子先生(神戸女子大学教授)です。

神戸市須磨区の2年生と5年生対象の調査結果(神戸女子大学が実施)。

整いやろい事に参加している児童の割合は10年前は8割、5年は9割(1割増)。

外で遊びたくても遊べない子1割以上

### 子どもの体がおかしい？「ロコモ」予備軍！?

外遊びが減っていることと子どもの体のおかしいとの関連が指摘されています。転ぶときに手が出す前足を折る、浮き指<sup>※1</sup>、ストレートネック<sup>※2</sup>、まっすぐに立てない、足の裏をつけてしゃがめない、という子が増えてきており、**ロコモになるリスク**が子どもたちに広がってきています(60歳で掛かなくなるかも...?)。逆に、積極的に運動することにより、体に異常をきたさず子もいます。


子どもは**自由にいろんな遊びをする中で、運動能力がバランスよく発達し、生きていくのに必要な多くの力を体得**していきます(想像力、判断力、観察力、コミュニケーション力、精神力、身を守る力など)。遊びづくりは、住民の交流を通じて地域で育てていく社会活動です。子どもから刺激を受け若さを保ちながら遊び場を作っていくください。

※1 ロコモとは、ロコモティブシンドローム(運動機能障害)。骨や関節などに障害が起り、立つ、歩くといった機能が低下している状態。高齢者に多く見られる。

※2 浮き指は、足の指が地面に響かずに立っている状態。後ろに響くのが行く。

※3 ストレートネックは、本来曲がっている首がまっすぐに伸びている状態。長時間のスマホやゲームによるうつり姿勢が原因になる。

- (2) 放課後遊ぼう会の趣旨や活動を広く知っていただくために、A4 裏表印刷のカラーチラシを7月に作成し、8小学校の保護者に配布しました。
- (3) ホームページを毎月更新し、開催中の様子を載せました。
- (4) 子どもの遊びの重要性や遊び場づくりの意義を市民に広く知っていただくための啓発セミナーを開催しました。梶木典子先生をお招きし、現在の子どもを取り巻く環境や、子どもに必要な力と遊びの関係、地域で次世代を育むためにできること等につきご講演いただき、好評でした。

日 時	10月27日(木)10時～12時	
場 所	宝塚市立男女共同参画センター・エル 学習交流室1	
講 師	梶木 典子先生 (神戸女子大学教授)	
タイトル	遊びの中で育つ力 ～子どもの遊ぶ権利を保障する～	
参加者数	24名	

## 4 子どもの育成に係る調査事業

- (1) 宝塚小学校において、1月に保護者を対象としたアンケート調査を実施しました。その結果、多くの子どもたちが参加しており、7割の保護者が遊ぼう会が必要だと考えていることがわかりました。
- (2) 各小学校における危険箇所は引き続き調査しています。

## 5 事業実施体制

### (1) 運営委員会開催

- 参加者：8校区の代表者、チーフプレイリーダー、役員
- 日 時：原則、8月を除く毎月第1水曜日 10～12時、合計11回開催
- 場 所：宝塚市立西公民館・くらんど人権文化センター
- 内 容：情報交換、安全管理につき共有、開催内容・広報紙等につき検討

### (2) プレイリーダー会開催

- 参加者：プレイリーダー、理事長
- 日 時：月1、2回、10時～12時30分 合計19回開催
- 場 所：法人事務所
- 内 容：各校の情報交換、ハザードの確認、事前点検、応急手当、三角巾の使い方、骨折対応、頭部のケガ対応、トラブル対応、不審者対応、熱中症対策、雷対策、ノロウイルス対策、工作実習

※プレイリーダーは別に、消防署において救急救命講習受講(2年に1回)

### (3) 各校区のボランティアからなる実行委員会主催の定例会出席

- 仁川小・良元小・未成小・安倉北小・宝塚小の定例会に担当プレイリーダーが参加
- 内 容：当月の開催中の様子につき情報交換、次月の開催日程や内容、今後の方針につき相談等

## 6 事例発表・メディア紹介

- (1) ラジオ関西「ハートフル・フィーリング」に足立理事長が出演し、活動を紹介し子どもたちの現状等を話しました(平成28年5月23日・30日放送)。
- (2) FM宝塚「まちづくり ゆめづくり」で、宝塚市長と足立理事長、宮本副理事長との対談が放送されました(平成28年11月20日放送)。
- (3) 宝塚NPOセンターニュース(平成28年12月発行)に紹介されました。